

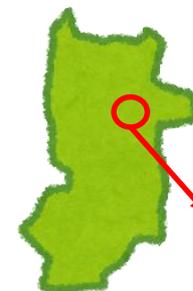
取組の概要

取組の概要 : 施設野菜産地の形成の推進
 計画作成主体 : 奈良県農業再生協議会
 対象品目 : 大和まな、千筋みずな、大和きくな、こまつな、ほうれんそう
 (産地面積 : 7.62ha)
 取組主体 : 奈良県、(有)山口農園
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業(パイプハウス等)
 状況 : 整備事業(野菜包装施設)

ポイント

- 休耕地等を利用した大和まな等の作付拡大を行うことで販売額10%以上の増加を実現。
- 県は新規希望者に対する試験経営圃場を運営。
- (有)山口農園は包装機を導入することで出荷労力削減。既存生産者が規模拡大。

地区の概要



奈良県
 宇陀市榛原・
 大宇陀・菟田
 野地区

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

大和まな等 6.97ha (219.1t)
 中心経営体 1法人、13名
 農業者数 67名

〈目標:H30年度〉

大和まな等 7.62ha (243.2t)
 中心経営体 2法人、13名
 農業者数 68名



推進体制

地域の関係者(奈良県農業協同組合、奈良県東部農林振興事務所、宇陀市等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 試験経営圃場からの生産物については、県が販売先、流通手段のコーディネートを行い、大和まな等の販売を希望する店舗と生産者が直接連結する生産・流通・販売システムのモデルを構築する。
 - (有)山口農園は産地内の個人経営者から大和まな等を集荷し、導入した野菜包装機を活用して産地内の出荷労力の削減につなげる。
- 〈県・市町村単独事業〉

- (県) 出荷目揃え会、栽培研修会を実施。リーフレットの配布等の販売促進支援。
- (市) 市内産の大和まな等を学校給食で提供することでPR、消費拡大を図る。

事業効果

- 水稻に比べて単位面積当たりの販売額が高く、実需者からのニーズも多い大和まな等の生産量を拡大。
- 販売額の増加により、大和まな等の産地強化を実現。

～大和まな等の販売額～

